



# 宮前中だより

さいたま市立宮前中学校  
学校通信 No. 4  
平成30年 7月 2日 (月)

さいたま市西区宮前町1467-1 Tel 623-7381 e-mail: miyamae-j@saitama-city.ed.jp

## 宮前中学校創立40周年記念式典に寄せて

校長 大木 克己

宮前中学校創立40周年記念式典が、7月7日(土)に本校体育館において開催されます。記念すべき年に校長として着任したことに、その責任の重さを改めて感じているところです。校長室には、初代鷲山浄峯(わしやまじょうほう)校長先生から前中村淑人校長先生まで、歴代14人の校長先生方の写真が掲げられています。私は毎日、先輩校長先生方に見守られて仕事をしています。「しっかりやれ!」「宮前中をよろしく」という声が聞こえてきそうな感じがします。実際に、2代吉岡由和先生、11代山口剛先生、12代金清司先生とは今でも時々お会いすることがあり、直接激励の言葉をいただいています。

さて、本校は昭和54年に大宮市立宮前中学校として開校しました。最初の卒業生は225名でした。そして、平成29年度までに8547名の卒業生がいます。式典を迎えるにあたり、今までの卒業アルバムを振り返ってみました。開校当初の校舎はコンクリートの打ち放しで塗装はされておらず、中庭の樹木も細く3~4mほどでした。また、校舎周りにはまだ住宅も少なく森や田畑に囲まれ、体育のランニング練習の写真には稲刈りの様子が一緒に写っています。体育祭では「騎馬戦」や「フォークダンス」も行われていたようで、古き良き昭和を感じます。しかし、学校生活や林間学校、修学旅行などのスナップ写真に写る生徒の表情は笑顔にあふれ、これだけは今も昔も変わらないものです。生徒のキラキラした笑顔ほど私たちに「幸せ」を与えてくれるものはありません。

10年を一区切りに宮前中の歴史を振り返ると、それぞれの時代に吹奏楽部、陸上部、駅伝などが関東大会、全国大会で活躍した様子や他の部活動の県大会での活躍が見られます。また、授業研究の面においては、教職員がさいたま市の指定や委嘱を受けて、積極的に新しい取組を行ってきた記録があります。10年後、宮前中学校が50周年記念式典を迎える年に、在校生がどれだけ立派になっていることを想像するだけでも楽しいものです。社会人としてバリバリ活躍している人、家庭をもっている人もいることでしょう。激しく変化する社会の中でたくましく成長することを期待します。40周年を節目に、次の10年に向けて在校生、教職員がさらに活躍することを願います。

さいたま市教育委員会では、次の10年を見据えた子どもたちの未来のための計画「PLAN THE NEXT」を掲げ、「3つのG」を重視して日本一の教育都市を目指しています。3つのGとは、「Grit(グリット)」やり抜く力を高めるとともに、「真の学力」を育成する。「Growth(グロース)」学びの連続性、生涯学び続ける力を育成する。「Global(グローバル)」世界を舞台に挑戦する主体性、創造性等を養い、多様性を受け入れ活用できる力を育成することです。本校においても、学校経営方針にあてはめ、PLAN THE NEXTを推進していきます。

宮前中学校創立40周年記念式典では、地域の皆様、保護者の皆様にも大変お世話になります。当日は、皆様とともに宮前中の歴史を振り返り、これからについてもお話ししたいと考えております。皆様のご来校を心よりお待ちしております。